

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.311

■ カーボンニュートラル対応技術動向講演会

次世代自動車センター浜松では、地域ものづくり中小企業がカーボンニュートラル対応に取り組んでいただくよう、「製造時CO₂削減活動」を展開し、浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム（事務局：（公財）浜松地域イノベーション推進機構はままつ脱炭素経営支援デスク）と連携を図りながら、カーボンニュートラル対応支援事業を実施しています。

今回、カーボンニュートラルへの取組みを模索する中小企業の皆様に有益な情報を提供するため、カーボンニュートラル対応に取り組むENEOS株式会社様の最先端技術を紹介する基調講演をはじめ、「製造時CO₂削減活動実践セミナー」として、当センターの望月センター長によるものづくり中小企業が取り組む製造時CO₂削減活動や、はままつ脱炭素経営支援デスクによる「省エネ」事例の紹介などを内容とする「カーボンニュートラル対応技術動向講演会」を開催しました。

■日時：2025年9月2日（火）14時～17時

■場所：ホテルクラウンパレス浜松

■参加者：76社／137名

項目	内容等
開会	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶／次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二 ・来賓挨拶／浜松市副市長 内藤 伸二郎 様 ・浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアムの概要／浜松市カーボンニュートラル推進課 様
基調講演	<p>「カーボンニュートラル社会実現に向けたENEOSの取組みについて」</p> <p>ENEOS株式会社 潤滑油カンパニー 潤滑油研究開発部長 金原 栄治 様</p>
製造時CO ₂ 削減活動実践セミナー	<p>①ものづくり中小企業が取り組む製造時CO₂削減活動／センター長 望月 英二</p> <p>②支援事例から学ぶ製造時CO₂削減案の見つけ方／はままつ脱炭素経営支援デスク</p> <p>③まとめ エネルギー最小化の取組み／センター長 望月 英二</p>

【開会】



<主催者挨拶>



<来賓挨拶>



<浜松市カーボンニュートラル推進課 様>



【基調講演】



＜質疑応答＞



【製造時CO₂削減活動実践セミナー】



＜まとめ＞



【参加者の声】

< 基調講演 >

- ・これまであまり着目してこなかった潤滑油によるCNの貢献について説明いただき、視野が広がった。
- ・燃料や潤滑用等、多数のアプローチがあることを知ることができた。
- ・弊社でも多くの潤滑油を使用しており、作動油の潤滑効率を上げることでCNにつなげる取組みが大変参考になった。
- ・CNの取組みとして省エネであったり、再エネの活用は意識していたが、潤滑油でのエネルギー伝達効率の向上は意識していなかったため、自社における今後のCN活動の新たな着眼点となった。
- ・液浸バッテリーの設計を考えていたので参考になった。E-AXLE、インバータの冷却についても、油について考えていきたい。次世代燃料について理解が進んだ。EV用冷却油についてメリットや課題がわかって参考になった。
- ・石油を扱う会社のCNに向けての取組みがよくわかり、新しいビジネスの話もあり、大変参考になった。MCHによる水素運搬については新たな知見となった。
- ・カーボンを使った商品の会社がどうやってCNを実現するのか興味があった。海外で作った電気を水素に変換しMCHを使って日本へ持ってくるアイデアを聞き、やれることはまだまだあるということを確認した。
- ・排出されたCO₂により「合成粗油」生成可能ということで今後に変革を感じた。
- ・原油を使わない、CO₂を出さないがCNの前提と思っていたが、摩擦を抑えたり、潤滑油をリサイクルすることもCNへの取組みにつながることを知ることができた。
- ・油圧作動油は日常的に使用している潤滑油なので、脱炭素貢献油という選択肢があることを知ることができて良かった。合成燃料についても勉強できて参考になった。

< 製造時CO₂削減活動実践セミナー >

(①ものづくり中小企業が取り組む製造時CO₂削減活動)

- ・具体的にどのような取組みをすればよいのかが明確でわかりやすかった。
- ・基礎知識から学ぶことができ理解しやすかった。
- ・CN対応は、まずは省エネに取り組む。チェックシートの確認が省エネ対策案となる。
- ・なぜ製造時CO₂削減活動が必要かの意義を再認識できた。
- ・製造時CO₂削減活動のステップを理解できた。
- ・チェックシートの活用により取り組む課題を見つけやすくなると思った。

(②支援事例から学ぶ製造時CO₂削減案の見つけ方)

- ・5社の具体例をご紹介いただき、イメージが掴みやすかった。
- ・事例を元にして理解が進んだ。コンプレッサー対策などのポイントがわかった。
- ・コンプレッサーの省エネについては弊社も課題になっているため、提案事例は参考になった。取組みの参考にして活かしていきたい。
- ・事例を示しながら改善効果が見える化（CN診断）されている点が、参考になった。
- ・コンプレッサー1つとっても、設定の見直し配置の見直しで省エネにつながることをわかった。CN診断を活用し、設備の最適化をはかることも検討する必要があると感じた。
- ・可視化したデータの注目すべきポイントがわかりやすかった。

(③[まとめ]エネルギー最小化の取組み)

- ・アイデアを生み出す5つの観点が参考になった。
- ・身近に多くのムダがあり見直しの必要があることに気づけた。
- ・エネルギーの最小化の取組事例が弊社でも展開できる事案ばかりで大変参考になった。
- ・まずはムダなエネルギーの削減が重要（エア一洩れ、熱洩れ、水洩れ等）と理解した。
- ・中小企業ができるCO₂削減活動についてまとめて知ることができた。今後の業務にも活かしていきたいと思った。